

審議会等の会議結果報告書

要点記録

会議の名称	茅野市環境審議会		
開催日時	令和元年8月30日(金) 午後1時30分から		
開催場所	茅野市役所8階大ホール		
出席者	<p>【審議会】小池正雄会長、中野昭彦副会長、望月克治委員、伊藤一人委員、井村淳一委員、木村明美委員、原田裕光委員、古谷健司委員、若宮崇令委員、島崎政久委員、仲沢祐二委員、小林幹治委員、山内一晃委員</p> <p>【事務局】岩島市民環境部長、平沢環境課長、朝倉環境保全係長、宮坂公害衛生係長、金井美サイクルセンター環境自治会担当、笠原主査</p>		
欠席者	4名		
公開・非公開の別	公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
	1 開会		
	2 会長あいさつ		
	3 会議事項		
	(1) 審議会の公開について		
事務局	審議会の公開につきましては、審議会の透明性の向上を図るとともに、市民の市政への理解と信頼を深め、もって公正で開かれた市政を実現するため、「茅野市審議会等の会議の公開に関する要綱」により原則公開としております。このことから本日の審議会は公開することによろしいでしょうか。		
会長	何か意見はあるか。		
委員	異議なし。		
会長	本件は公開とする。		
	(2) 第2次茅野市環境基本計画の進捗報告について		
会長	会議事項の(2)第2次茅野市環境基本計画の進捗報告について審議を行う。内容については事務局から説明をしてもらう。		
事務局	第2次茅野市環境基本計画は目指す環境都市像の実現のために6つの目標を設定してある。本日はこの6つの目標ごとに概要を説明し、計画の中に定めた指標、目標値についての実績及び評価を報告させていただくので、このことについて委員のみなさんからご意見をいただきたい。		
	【1 自然の恵みを大切に受け継ぐまち】		
事務局	(説明)		
山内委員	外来生物について具体的に教えてほしい。		
事務局	市内において繁茂が確認されている特定外来生物はアレチウリ、オオキンケイギク、オオハンゴンソウがある。アレチウリは河川敷、オオキンケイギクは日当たりの良い道路沿い、オオハンゴンソウは山間部のジメジメした場所に多く分布している。きれいな花が咲くものもあるが在来種を駆逐してしまうことから特定外来生物に指定されている。		
若宮委員	人と自然が共生する健全な地域生態系とは具体的に何をイメージしているのか教えてもらいたい。漠然とした表現で良く分からない。		

事務局	今ある自然を保全すること、乱開発を防ぐことなどによりバランスを保ち次の世代まで豊かな自然を引き継いでいくことを想定している。
若宮委員	自然に囲まれ安全で気持ちよく住めるまちづくりのことなども含むと思うが、みんなに伝わる形で「こういう自然」というものが示せばさらに良いと思う。また、様々な活動について担い手が課題であると評価しているが、縦割り行政ではなく他部署と連携をとってもらいたい。例えば公民館や博物館の講座を受けた人が活躍できる場にする、生涯学習を生涯活動へと変えていく場が環境保全にむすびつけられると良いと思う。
事務局	学んだことを活かしていくことができるようなシステムは確立できていないのが現状である。外来種駆除など他部署と連携をとり進めている事業もあるが、まだまだ不十分であると考えているので、気付いたことがあればぜひ提案していただきたい。
会長	市民の力を活用し進めていくことはとても大切なことだと思う。ぜひ進めてもらいたい。
山内委員	グリーンパートナーについて教えてもらいたい。
事務局	市が登山道のゴミ拾いや状況報告をしてもらうことを目的として募集し、ボランティアとして登録して活動していただいている。
会長	このことについて、仲沢委員に市内に多くある国有林の状況について教えてもらいたい。
仲沢委員	国有林でも高山植物のパトロールを協議会として活動している。また、業務の中でもゴミ拾いや監視活動を実施している。
会長	連携して活動してもらえるとさらに良いと思う。
古谷委員	市民でも山に行ったことのない人、山や自然に関心のない人も多くいる。理想像も大事だとは思うが、底辺から積み上げていくこと、地域に密着した取組を計画に入れていくことが大切ではないかと思う。
木村委員	子どもと一緒に活動することや活動を通して環境に興味を持ってもらえることが大切だと思う。最近、湖東地区で地域の方がじゃぶじゃぶ池を復活をさせ、マスつかみ大会を行った実績がある。子どもも親も活動を通して自分の住んでいる地域や環境に関心を持ってもらえたのでないかと思う。
若宮委員	もっと市民のみなさんに自然に興味を持ってもらえるアプローチができないかと思う。川崎では市と博物館が連携してみんなで生きもの調べという事業を実施していた。これは春にどこでチョウが飛んでいたなどの情報を簡単にネットで登録していくものである。日頃から身近な環境に関心を持ってもらうには良いアプローチではないかと思うので提案させていただきたい。
山内委員	茅野市は地域に根ざした取組をたくさん行っていると感じている。こういった活動を、計画の中に具体的な取組として反映してもらえれば良いと思う。それが底辺の拡大にもつながっていくと思う。
会長	地下水賦存量調査はぜひ継続してもらいたい。 市内では市営水道の他に別荘事業や農業用の井戸など非常に多くの水を利用している。茅野市の山は広く水も豊富だが、持続可能な形で地下水を供給していくためにこの取組は大きな意味があると思う。さらなる充実を願っている。
	【2 安全で人にやさしいまち】
事務局	(説明)
井村委員	合併処理浄化槽の法定検査について実施率が低いのは金額が高いことに問題があるのではないかと思う。

事務局	このことについては市だけでは解決はできない問題ではある。また法定検査は自ら申込しなければいけないことになっており、このシステムにも問題があると考えている。
井村委員	野焼きについて規制や指導など具体的にどのように対応しているか教えてもらいたい。
事務局	基本的に野焼きは法律で禁止されているが、例外事項として農業で出た草は燃やしても良いことになっており一律に禁止という指導はできない。野焼きについて苦情があれば現地を確認し、苦情が出ていることを伝え、なるべく近隣に影響の出ない方法で実施していただくようお願いしている。 ゴミ等を燃やしている事例であれば警察と一緒に対応している。
井村委員	他市町村と比べてどうか。
事務局	農地面積が広いので多いと思う。農地の横に宅地造成されたところで問題になる傾向がある。
小林委員	野焼きをすることで、鳥が来て害虫を食べる。また野焼きによって地熱が上昇して害虫が減る。野焼きについてはこういった良い側面もあるので、消防署や役場へ連絡することを徹底してもらいたい。
若宮委員	水質検査について、BOD 検査以外に、できれば生物による水質検査も行ってほしい。イベント的な形で水生生物調査ができれば市民に関心の環を広げてもらえるので良いと思う。
会長	昔、川の水はきれいだった。もっと高い基準、市独自の基準を設定して取り組んでもらいたい。
山内委員	目標が安全で人にやさしいまちとなっているので、自然災害対策などについても計画に入れることを検討してもらいたい。
事務局	後期計画の中で見直す。
	【3 うるおいとやすらぎのある快適なまち】
事務局	(説明)
	【4 環境への負荷が少ないまち】
事務局	(説明)
伊藤委員	指標について、環境館来場者数とするのではなく、どれだけ再利用が図られたのかがわかる指標にするべきではないか。
事務局	人数では一概には言えないことは承知しているが分かりやすい指標として設定している。今後検討させていただく。
中野委員	ゴミについて茅野市では高いレベルでやっていると思う。 現在CO ₂ 削減から脱CO ₂ へと時代の転換期になっていると思う。プラスチック等についても資源としてどうとらえるのか長期的なスパンで考えてもらいたいと考えている。
木村委員	教育の一環としてやるのが長期的に考えても必要になってくると思う。資源物の分別収集は定着してきており、ゴミではなく資源だよという考え方が大切だと思う。
	【5 地球環境にやさしいまち】
事務局	(説明)
原田委員	今後低炭素型住宅など環境に配慮した住宅について補助金の検討をしているか教えてもらいたい。
事務局	リフォームについて都市計画サイドにおいて補助金はあるが環境サイドとし

	てはない。環境に配慮した制度としては以前個人住宅の太陽光について補助金があったが現在はない。
原田委員	市民に地球環境に関心をもってもらうためには、建物に関しての補助金制度等も一つの手だと思うので検討してもらいたい。
望月委員	2重サッシにするだけでも暖房、冷房効果に非常に効果があるので補助金については検討してもらいたい。また家庭用蓄電池についての補助制度を実施している自治体もあるので検討してもらいたい。 あと公共施設では、6温泉施設において多くの灯油を使用しているの、これを薪ボイラーにすると温暖化対策としては効果があると思うので検討してもらいたい。
井村委員	温室効果ガス排出量は茅野市だけの目標なのか教えてもらいたい。
事務局	国の目標に準じた形で設定したものになる。
伊藤委員	温室効果ガス排出量について、家庭での排出量の節約が進んだことによると記載があるが、取組の参考にしたいので具体的なものを教えてもらいたい。
事務局	排出量の算定については国の指標を基に按分等で算出している。国の動向として家庭での排出量が削減している傾向にあるということである。
古谷委員	国の指標を使って目標を設定することは良いが、実行可能な数値なのか、このことについては検証し、目標設定してもらいたい。
中野委員	気候変動適用法案があるとおり、温暖化対策には何か具体的に取り組むべき時にあると思う。SDGs等でも脱炭素社会へ向けて走り出そうとしている。茅野市環境基本計画においても低炭素社会を目標にするのではなく、脱炭素社会を目標とし、新しい視点で取組を進めてもらいたい。
望月委員	温室効果ガス排出量について茅野市の実態を把握するために、家庭に電気使用量モニターをお願いする取組を検討してみてもどうか。
事務局	参考にさせていただく。なお、公共施設については電気使用量や水道使用量などについて報告してもらっており把握している。
	【6 協働で環境づくりに取り組むまち】
事務局	(説明)
望月委員	クリーンウォークについて、区の行事予定を決める前に実施日が確定していると区としての参加率も向上すると思うので調整してもらいたい。 また、市民団体との情報交換会についてはぜひ実施してもらいたい。
	【重点施策について】
事務局	重点施策としては「1 自然の恵みを大切に受け継ぐまち」と考えているがいかがか。
会長	このことについて意見はあるか。
委員	異議なし。
会長	貴重なご意見ありがとうございました。 第2次茅野市環境基本計画の進捗報告については以上とします。
	(3) 報告
事務局	(茅野市生活環境保全条例の一部改正について説明)
	4 その他
	5 閉会
副会長	以上をもって、令和元年度第3回茅野市環境審議会を閉会する。